



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2011.12.19

No.00684

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【Xmas 例会】12.19
 「La Terrasse d' oenon」
 クラブ親睦委員会

次回のプログラム

【新年会】01.13
 「わらく」
 クラブ親睦委員会

12月の主な行事：家族月間

第 683 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長
 ローターソング：奉仕の理想
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎

■皆さん、今日は横山さんがクラブ代表として東苦小牧 RC さんの介添えで Guam に行かれています。クリスマスドロップ参加として配布玩具その他パッキング等に参加されます。



本日も大変寒い日が続いています、皆さん風邪にはならないように願います。

先週、総会で滞りなく、次年度役員、理事さんが確定しました。ありがとうございました。

次年度はまた新しい形のクラブ運営が行われると思いますので、クラブの变革を楽しみに、ご意見等々いただければと思います。

本日は社会奉仕委員会のプログラムで、何か私を受け持ちというような按配で、先週に引き続き、無粋な話で御容赦願います。

■私のほうの報告で、分区会長幹事会が先月 18 日に開かれまして GSE の受け持ちのお話がありました。来年 3 月 30 日の金曜日が受け持ちの日とか、詳細は今後派遣されてくる米国の第 7190 地区のメンバー内容によって協議いたします。その節には皆さん、よろしく願いいたします。受け持ちの日は守谷 RC さんと共同での担当になります。話の向きでは、例会参加と何らかの行事、訪問等々になるようですが、まだ未定です。通訳は横澤さん、馬場先生にお願いいたします。ニューヨーク州オールバニ市から来ます。因みにオールバニ市は人口 95000 人程度歴史の

ある町ですが、田舎でしょうか。ハドソン川上流二百数十キロ上流の町です。航空母艦サラトガというのをご存知でしょうか、その名前の由来の独立戦争のあったサラトガの地がオールバニ市近郊ということになるようです。サラトガの戦いというようです。航空母艦命名の由来の地としても有名です。映画にもなった航空母艦でミッドウエー海戦、ソロモン海戦、で雷撃を受けても沈まなかった不沈空母として有名で映画にもなりました。

幹事報告：横澤啓二

■恒例の餅つき大会 28 日です参加お願いします。

■竜ヶ崎ロータリークラブ例会変更のお知らせ
 12月20日→12月16日
 忘年家族例会 .PM 7 :00
 於.ホテルグランド東雲
 12月27日.休会 H24,01
 月03日 休会 01月10日 新年会.PM6:30.於松泉閣 以上です。



■次年度地区野堀事務所から次年度役員等の情報依頼が来ています。川上次年度幹事さんよろしく願い致します。

本日のプログラム

社会奉仕の形
 「今時のガバナーの迷走と本質理解の欠如」

社会奉仕委員会

■ご承知かとは存じますが、今回の東日本大震災では、ロータリーの何が求められたのは確かなことでしたが、明らかに時代は関東大震災とは違っており、その差がどこにあるのか、整理しておきたいと思いました。まず、時代は関東大震災・1923 年大正 12 年のことでした。私の母は当時 10 歳、父親は 12 歳でした。マグニチュード 7.9 被害は家屋の損壊、

焼失など 373,000 件、人的被害は 1 死者不明 105,000 人、そして津波は千葉県で 9.3m だったそうです。そして先の阪神淡路大震災では 1995 年 1 月 17 日午前 5 時 46 分マグニチュード 7.3、その日、私は地震直後にすぐ TV のスイッチを入れ、事の重大さを直感しました。ご承知のように関西は地震が少ないため、この龍ヶ崎市のようにいつもと言って良い位揺れていることは無く、その時のゆれは関西人全てが大騒ぎであったと思います。結果死者 6400 人、建物被害は 315000 件、今回の東日本大震災はマグニチュード 9.0 今の死者行方不明は 19400 人、家屋損壊は 320000 件そしておまけが福島原発破壊となります。この 3 つの比較と経済水準を関連付けると、関東大震災当時のお米は 1 俵 10 円 20 銭そして阪神淡路大震災当時は 23100 円だったようです。大正期から戦後までの物価の上昇は 10 倍そして、戦後は約 8 倍に物価は上がっていますから、そのあたりで考えますと、関東大震災当時から 18 倍になっているということで、単純に考えますと、家屋の数から見ても、関東大震災の被害は相当の規模といえます。科学や生活水準の進歩の度合いによって、同じ地震でもその被害は変わるということでしょうか。

■今回のロータリーの活動の意味合いは、関東大震災に海外から受けた義捐金を今のコストに換算すれば、どうなるのでしょうか。同時に前にもお話いたしました。国民各位の義捐金の総量の大きさは時代とともに膨大になって、ロータリーや他のボランティアの資金などは比べるべきものでも無い規模にあります。そういう意味では、ロータリーの存在意味が 1905 年以降その時代の変遷、生活水準の進捗によって、変わってきており、諸活動のあり方も変革しているということになります。日赤の義捐金が 3000 億円を超えました。

そして、ロータリーの話に戻りますが、今年度のガバナー会が何を勘違いしたのか、ロータリーの義捐金 9 億 6100 万円その内配らず残した義捐金で勝手に育英資金を作ろうとしたとか、騒ぎが大きくなって撤回されましたが、そもそもロータリーの在り様自体もどこかに吹っ飛んだ話で、ロータリーならではの奉仕活動などいつの間にか無くなっている感があります。赤十字とは比較にもなりませんし、比較するものでもありませんが、ロータリーなら何をどうするのが問われるべきであって、単純に育英会に結びつくのは、どう考えればそうなるのか、いよいよロータリーも曲がり角を曲がって、どこか知らないところに行くのかと思います。間違いは間違いで、正すべきは正しておく必要があります。今月のロータリー月信のガバナーの公式訪問について、気がつかれた方があったと思いますが、11 ページの

ひたちなか RC の坪田会員の原稿ご一読願います。脱稿するまで数回色々な切り口で原稿を書かれたようで、でも、やはり言うておくべきと、直前まで、やり取りがありました。そして、私どものクラブの公式訪問についてごらんになった方はいますでしょうか、実はエスケープいたしました。数度の要請がありましたが、無視というか、報告すべき内容がないこと、義務なら致し方ないが、裁量がクラブにあるなら、断固書かないとして、拒否いたしました。あえて報告が必要なら、クラブ会報をご覧くださいということにいたしました。

■このことに象徴されるように、この数年というか 6 から 7 年ぐらいはガバナーのお仕事ぶりがロータリーの指導者として明確に尊敬に値するとは到底思えず、この地区のみかと思えば、先ほどのガバナー会の脱線に代表されるように、ロータリーの在り様が崩壊している状況にあって、残念至極ということかと思えます。一方では、各地域の社会奉仕の実践がなかなか形にならないというような気がいたします。世の中の進み具合が、ライフスタイルの変化が従来のロータリーの奉仕の必要性が薄らいでいるからなのか、単に我々が気が付かないのか、判然としません。今年も例年通り、社会福祉協議会連携の事業をいたしました。新しい試みを私自身欲求として浮かばないことから、次年度に引き継ぐこととなります。3 月の大震災がロータリーに与えた役割がどんなものだったのか、これもわかりません。ロータリー的な奉仕活動が大震災にあって的確に機能できるのか、単に義捐金、支援物資、何らかのボランティア活動がやはりロータリーでも必要だったのか、というよりそれでよいのかも、いまだ、自己評価できていません。前にも申し上げましたが、福島県新地町への慰問では、ロータリーの奉仕活動ですよということすらはばかれると私は感じました。今回の大震災ではロータリーだからというような物言いはまったく場違いというか、単なる売名とまでは言いませんが、宣伝目的の活動になってしまう傾向がありました。多くの国民が理屈抜きに活動しているので、わざわざロータリーだからなどと物言いつつこと自体ばかげた行為ということでした。

■ここはじっくりと、これから起きるかもしれない地域の困難な課題、被災地の課題に向かってロータリーの奉仕が意義深く発揮される場面があるのかと、思ったりもいたします。職業奉仕的な側面での活動、活躍もあってしかるべきかと思えます。先週お話をいたしました、放射性物質の除去技術のことは職業奉仕的な側面に当たるのではと思えますし、そういう意味では、当地区は原子力関連企業も多数あって、それぞれの企業活動においてその技量を発揮されることが今後重要なのではと思えます。

技術的な技量を今回のような惨状で発揮されることが、ロータリーとして大切な奉仕活動としてそれぞれの事業、職業分野で力になることを考えていただければと思います。

原子力の安全神話が崩壊し、関係者はその呪縛から解放され、本当に必要と思われる技術力の展開を誰はばかすることなく進められることが求められていると思いますし、つい最近知りましたが、米国で活躍されている科学者で、大西康夫さんといいますが、原子力を含む環境科学の大家が米国を代表する学者として今大活躍をされています。所謂日本の御用学者ではなく、逆に米国政府の御用学者かもしれませ

委員会報告：国際奉仕委員会

クリスマスドロップ事業

横山善英

■ここ 10 年支援を続けているクリスマスドロップ事業。だが、金銭的支援や Golf Tournament の参加支援協力はしたものの、これまで直接の労力奉仕の機会には恵まれてこなかった。そんな中、クラブホームページを通じて事業参加に声をかけてくれたのが今回同行した苦小牧東 RC である。20 周年事業に何か心に残る事業を模索している



中の発見であったらしい。主役は苦小牧東 RC、私共は紹介クラブの立場なので、今回のグアム訪問は聊か楽な気分であった。

私等夫婦は 12 月 8 日 18:40 DL(デルタ)96 便で旅立った。グアム時間 23:30 到着。空港で Mike-san にレンタカーを借りたのでホテルで 25:00 頃就寝できた。翌日は FREE。GOLF・SHOPPING・SWIMMING・WALKING 等で楽しみ、夕刻苦小牧東 RC のメンバー 6 人を空港へ出迎えに行った。だが、見事に遅刻。空港には誰も居なかった。18:00 到着予定だったので、出国審査等で 1 時間程要すると思い、30 分程調整したのが間違いの元であった。便は 17:00 過ぎに到着 18:30 にはホテルに着いていたとのことであった。そうとも知らない私達は 20:00 頃までひたすら空港で待ち続けていたのだ。



12 月 10 日：いよいよ Christmas Drop の梱包作業に出かける。7:15 に Fiesta Hotel を出発。坂元さんが苦小牧東 RC 一行 6 名を連れて来てくれたので、私達はその後をついて行った。7:45 頃に Andersen Air Force Base の Visitor House に着いた。基地前で

んが、この科学者の環境評価技術が世界の標準として世界中から評価されているようです。

■クラブの社会奉仕の実践ということと同時に、ロータリアン個々がロータリーの精神というか、考え方を良しとしてそれぞれの職域で実践としてその技量を発揮することが重要かと思えますし、ロータリアンとしての活動に重きを置くことで新しい発見も少なからず見つかると思います。クラブで奉仕すること、個人で何らかの奉仕であったり、職業上の実力発揮であったり、社会還元の道は多様ではと思います。



の写真撮影は問題ないと聞いていたので、皆で記念撮影をした所、1 枚写した所で Police が飛んできた。撮影禁止場所だったらしい。その Police は基地の門番と写真警備兵に連絡したので大騒動になってしまった。結果的には重要な部分は写っていなかったの

で厳重注意、書類報告のみで済んだ。これが北朝鮮ならば強制労働でしばらく日本に帰れなかったであろう。よって基地内はカメラ持込禁止かと思いきや、すんなり持ち込めたのでよく訳が判りません。

(問題の写真は回覧します)。

混乱の最中、今回お世話になるクワータン大尉がお見えになった。黒人女性で私の娘と同じ位と聞いてとても驚いた。大尉は基地内を車で 1 時間ほど案内してくれた。(軍人家族保養海岸↑)



10:00 梱包作業を行なう場所に着いた。飛行機の格納庫であろうかとても広々としていた。しばらくして軍人家族のボランティアと合流。分別班、箱組立班、力仕事班に手分けして作業にとりかかった。まず、軍人と思しき人が床面に材木(角棒)を置き、その上に板を敷く。そして物資を入れる段ボールを組み立てるのだ。

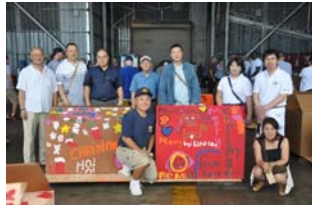


何度も参加しているらしく皆手際が良く順調に事が進んで行く。軍服姿はいないので誰が軍人で誰が家族なのか皆目判らない。生活用品、



衣類、玩具、食料品など多種多様の物資である。靴は対毎に紐で括りつけ全ての箱に均等に行き渡るよう納めて行くのだ。

段ボールも軍家族の子ども達が描いたのだろうカラフルな可愛らしい絵が印象的だった。



(苫小牧東 6 名、Guam Sunrise 1 名 龍ヶ崎中央 2 名での記念写真↑)

一通り梱包作業が終わると今度は K-9 (麻薬犬) の活躍。全ての箱を隈なくチェック。最後に既定の重さをチェックし 3 時間にも亘る作業をやっと終わることが出来た。全員汗だく汚まみれ。しかし、皆清々しい気持ちで帰って行った。



13:00 作業後私達一行は大尉の配慮により軍施設内 SHOPPING CENTER で昼食を摂った。ここには生活をする全ての店舗があり、ひとつの軍の街が存在する。写真撮影は控えたが、一般の我々にも売ってくれる製品があったので空軍マーク入り帽子やTシャツを買った。だが、制服類はIDを提示しないと販売できないとのこと。

14:00 大尉とお別れし基地を出た。途中「日本軍平和慰霊記念公園」に寄った。ここは太平洋戦争時、日米の激戦地であり、近くには司令部の壕跡がある。観光客は殆ど訪れることはなく、若者でこの歴史的背景を知る者も少ないであろう。



15:00 一旦ホテルへ戻り、しばらく休息。

19:00 苫小牧東 RC からの支援金授与式を「Tony Roma's」で行なった。今回グアムを訪問したのは、ただ支援金 (Christmas Drop) を贈るだけでなく、その一部を勤労にて奉仕することも大きな目的であったからである。



今回の事業参加を通じて Guam Sunrise Club のみならず、苫小牧東とも友好を深めることができた訳で、私もその橋渡ししできたことを大変



嬉しく思っています。そして、5 月末の記念事業が成功裡に終わることをお祈り致します。



後記：Mike-san は次年度の Assistant Governor になったことは川上会員から報告がありましたが、その関連で 2 月頃、龍ヶ崎を訪問するかも知れません。きっと AG としての研修だとは思いますが、もうひとつ大きな理由がありまして、今回、私の奥さんとのゴルフ勝負に 2 回挑戦して 2 敗。最近の戦いは全敗している。よって日本でのリベンジ戦に闘志を燃やしているのだ。

さて、勝負の行方は？ 坂元氏は又打ちのめされると予想しているが、果たしてどんな結末を迎えるか。

本日出席状況

会 員	20 名	出席率	60.00%
出 席 者	9 名		
出席免除者	2 名	亀尾会員	吉澤会員
(定款第9条3節a)	1 名	馬場会員	
Make-up	3 名	横山、小林、椎塚会員	

ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 2 件 8,000 円 (本年度累計 264,000 円)

荒木会員：ラス前例会、やっと参加出来ました
海老原会員：真冬のような天気です。

クリスマス例会は 12 月 19 日月曜日
午後 6 時半開会、会場牛久シャトー
ラ.テラスデュオノンです。

ロータリー豆知識

《ロータリーソング》

(亀尾会員)

シカゴクラブでロータリーソングが歌われるようになったのは、親睦派と奉仕派の論争が起こると、さあ歌を歌おうと言って第四代クラブ会長になったハリー・ラクルスが歌でその危機を救った。1930年、奉天RCの提案で、日本語の歌をつくることになりことになり、「奉仕の理想」作詞・前田和一郎、作曲・萩原英一と「我らの生業」作詞・高野辰之、作曲・岡野貞一で作られた。

1952年、60と61地区の分割を前に「手に手つないで」を矢野一郎が作詞作曲し、翌年1953年、地区分割で「どこで会ってもやあと言おうよ」を矢野一郎が作詞作曲した。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。